



未来のために、今を変える。

政治への信頼を失墜させたリクルート事件が起こったのは、私が大学4年生のときでした。「国民に信頼される政治家になりたい」という強い思いで、何のコネもない私が、海部俊樹元総理の門戸を叩いたのが、私が政治に携わるようになったきっかけでした。政治への信頼は民主主義の根幹です。国民の信頼の上に立たなければ、国民を笑顔にする政策は実現できません。

「初心生涯」

政治家を志した初心を忘れることなく、信頼回復のための政治改革にも真摯に向き合い、国家国民の繁栄のため全身全霊を捧げることを誓います。

衆議院議員 **中川貴元**



《略歴》

- 昭和42年2月25日生まれ
- 平成元年 早稲田大学商学部卒
- 平成7年 名古屋市議員初当選
- 平成24年名古屋市会議長
- 平成24年指定都市議長会会長
- 令和3年10月
第49回衆議院議員総選挙初当選
- 令和4年8月
総務大臣政務官 等歴任



◀ 中川たかもと
オフィシャルサイト



令和6年(2024年)7月11日(木曜日)号外

LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主

発行所：自由民主党本部
〒100-8911 東京都千代田区永田町1丁目11-23
電話03-3581-6211(代表)(毎週火曜日発行)

Report **強い経済で、
優しい社会を。**
Vol.21



前総務大臣政務官
衆議院議員 (愛知2区 千種区・守山区・名東区)

中川たかもと

Let's Try Again

～経済復活に向けて～

私が高校生、大学生の頃、日本はとてもキラキラしていました。明日への活力や未来への希望が実感できました。その後の「失われた30年」。

経済をはじめ、様々な課題が山積している現在の日本。

しかし、私たちは必ず復活できます！

30年振りの賃上げは昨年を上回る勢いです。

名目GDPも本年度中に600兆円を超える見通しです。

「成長と分配の好循環」「賃金と物価の好循環」の兆しが見えてきたこのチャンスを確実にモノにし、日本経済の復活をはかります。

低成長からの脱却シナリオ

今後の長期的な成長を考える上で最大の障壁は加速する人口減少に立ち向かっていくことです。

人口減少を乗り越えるためには、まず、労働参加を高めていくこと。長期的には希望出生率を叶えること。

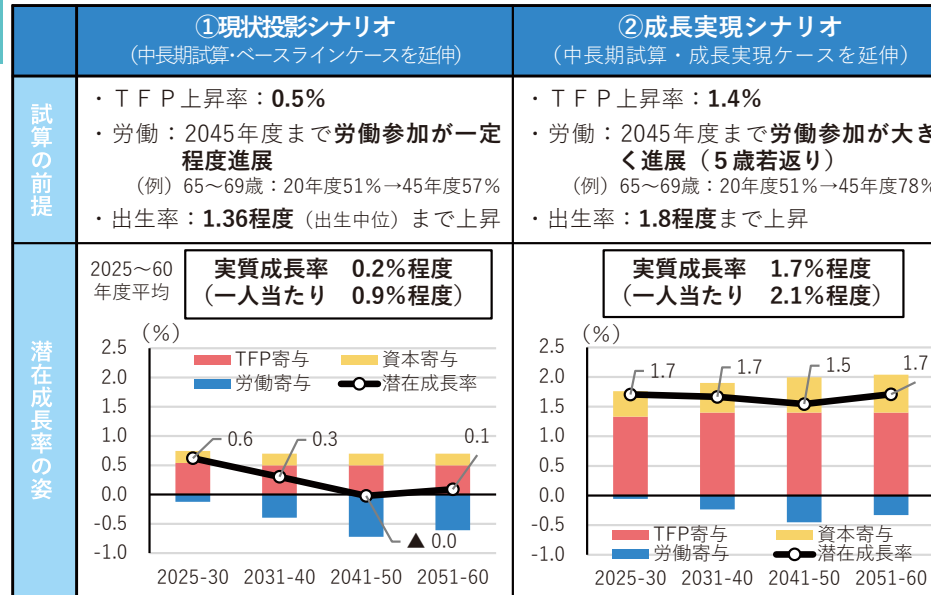
労働力を確保しつつ、国内投資を拡大し、かつ、生産性を高めていくことが欠かせません。

これまでの低成長の日本を継続したままでは、人口減少による経済の下押しを乗り越えることができず長期的には構造的なマイナス成長に陥るリスクがあります。(図1-①参照)

それに対して、生産性を高め、労働参加を拡大し、出生率を高めるといったことを実現することができれば、官民連携によるGXなどの国内投資を強化することで、加速する人口減少の下でも2%弱の持続可能な成長を実現することができます。

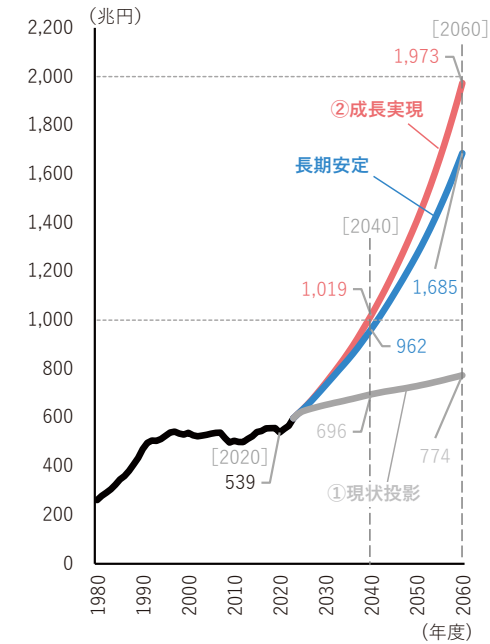
(図1-②参照)

【図1】経済の姿



出展：内閣府資料

【図2】名目GDP



目指そう！GDP1,000兆円

そうした経済の下で、安定的な物価上昇が続けば、2040年頃には1,000兆円のGDPが視野に入ります。1,000兆円というと非現実的と思われるかもしれませんが、かつての日本はそれ以上の成長を遂げました。

例えば、1980年は248兆円、それが10年後には452兆円で1.8倍。この間の平均の成長率は6%でした。

1,000兆円を目指すというのは、これからの約20年間で、1.7倍にするということです。(図2参照)

つまり、かつて10年間で達成したことを20年間で成し遂げようとするのですから、決して絵空事ではなく、実現可能なことなのです。

そのためにも、足元の好調な賃上げを継続させ、旺盛な投資計画を現実のものとしていく。そうした流れを定着させていくことが必要です。

私たちはやればできるんです！

経済発展の牽引役は名古屋・愛知から

名古屋・愛知には、日本有数の大企業や数多くの中堅・中小企業が存在しています。

これからの日本は、GX、DX、イノベーション、スタートアップをはじめとした新しい産業にトライしていく絶好の機会です。

日本経済の復活を果たし、強い経済で、誰にでも優しい社会を創っていきましょう！！



松本総務大臣と、中部経済連合会が名古屋市と協力して設立したスタートアップ支援拠点「ナゴヤイノベーションズガレージ」(写真左)、名古屋市立大学の高度医療機器(写真右)を視察